

2022年7月21日

## ポンプ・送風機の地震への対応について

一般社団法人日本産業機械工業会  
汎用ポンプ委員会  
汎用送風機委員会

ポンプや送風機は羽根車をまわして気体や液体を送り出す回転機械です。羽根車を回転させるためには、羽根車とケーシング（本体）の間に「クリアランス」と呼ばれるわずかな隙間を作る必要がありますが、その調整には繊細な作業が求められます。回転機械のクリアランスに不具合を生じさせないためには、回転機械に余計な振動が加わらないよう、しっかりと固定、あるいは据え付けた状態で運転することを前提※として、各メーカーは製品を設計しております。回転機械の運転中に強い振動を加えると、最悪の場合、回転する羽根車が外れて周囲に危険を及ぼすおそれもあることから、回転機械には地震の際に運転を継続させる「耐震性能」という概念は無く、地震の際は速やかに運転を停止させることが原則です。

※機器の固定は（一財）日本建築センターが発行する「建築設備耐震設計・施工指針」に準じ耐震確認されています。

地震が収まった後、ポンプや送風機を再度運転する場合は、下記の手順で確認をお願いいたします。不具合等がありましたら無理に運転せず、製造メーカーまたは専門業者にご連絡ください。

### （ポンプ）

1. 目視で製品外観に異常がないか確認する。
2. 配管や基礎、電線に異常がないか確認する。
3. 羽根車や軸を手回しして、各部品に接触がなく、円滑に回転するかどうかを確認する。
4. 運転後、漏水や異常な振動・騒音・過熱がなく、電流値が正常であることを確認する。

### （送風機）

1. 目視で製品外観に異常がないか確認する。
2. 据付状態や配管・電線に異常がないか確認する。
3. 羽根車や軸を手回しして、各部品に接触がなく、円滑に回転するかどうかを確認する。
4. 運転後、異常な振動・騒音がなく、電流値が正常であることを確認する。

資料内容についてのお問い合わせ先

一般社団法人日本産業機械工業会 産業機械第1部

TEL 03-3434-3730 FAX 03-3434-4767

電子メール sankil@jsim.or.jp